

かわいいだけの動物ではありません

特定外来生物・アライグマにご注意を



市内で年間約100件の目撃情報、「庭で飼っている金魚が食べられた」などの被害報告が寄せられているアライグマ。農作物の被害や生態系への影響が深刻化しているほか、狂犬病などの感染症を媒介する場合があります。大変危険な存在です。

今回は特定外来生物として大きな問題になっているアライグマの特徴や気を付けることなどを紹介します。(公園みどり推進課)

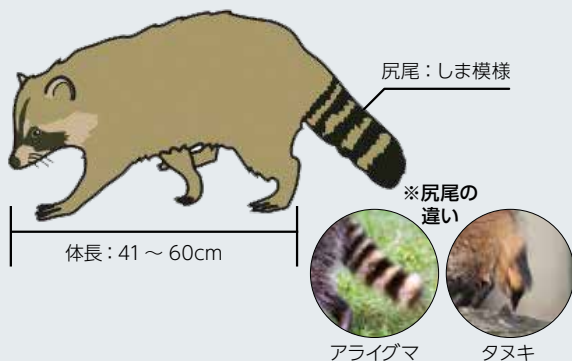


環境省提供

実際に市内で捕獲されたアライグマ

特定外来生物・アライグマ

アライグマって、どんな動物??



アライグマの特徴
 原産：北アメリカ
 体重：4～10キログラム
 特徴：毛色や大きさはタヌキと類似しているが、尻尾(※)はタヌキと比べて長く、しま模様がある
 習性：夜行性で雑食、学習能力が高い

人気者から一転、特定外来生物へ……

- 昭和52年(1977)に放映されたテレビ番組をきっかけに、その愛くるしい外見からペットとして爆発的な人気に
- ペットとしてかわいがっていても成獣になると、気性が荒く飼育しきれなくなって放棄したり、器用な手先でおりの扉を開けるなどして脱走されたりするケースが続出
- 繁殖力が強く天敵がいらないため自然繁殖が進み、個体数が増加し続けている
- 平成17年(2005)特定外来生物に指定

アライグマを見掛けたり出合ったりしたときは??

まずは、公園みどり推進課までご連絡を!

連絡ができなくても、これは守りましょう

ゼットイに

近寄らない!

警戒心が強いので、人間から近づかない限り、積極的に攻撃してくる可能性は低いです。触ろうとしたり、驚かせたり、追い掛けたりしないでください。

ゼットイに

食べ物を与えない!

人に慣れた個体は人を怖がらなくなり、人の生活圏に住み着いてしまう可能性があります。餌をあげないでください。

特定外来生物って??

本来その場所にいなかった、海外から持ち込まれた動植物で、生態系に被害を及ぼすまたは及ぼす恐れがあるため、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」により飼育・栽培、運搬、輸入、譲渡などが禁止されているもの。令和2年(2020)2月現在、148種類が指定されています。

実は植物にも! オオキンケイギク

繁殖力が強く、在来種の生育に悪影響も

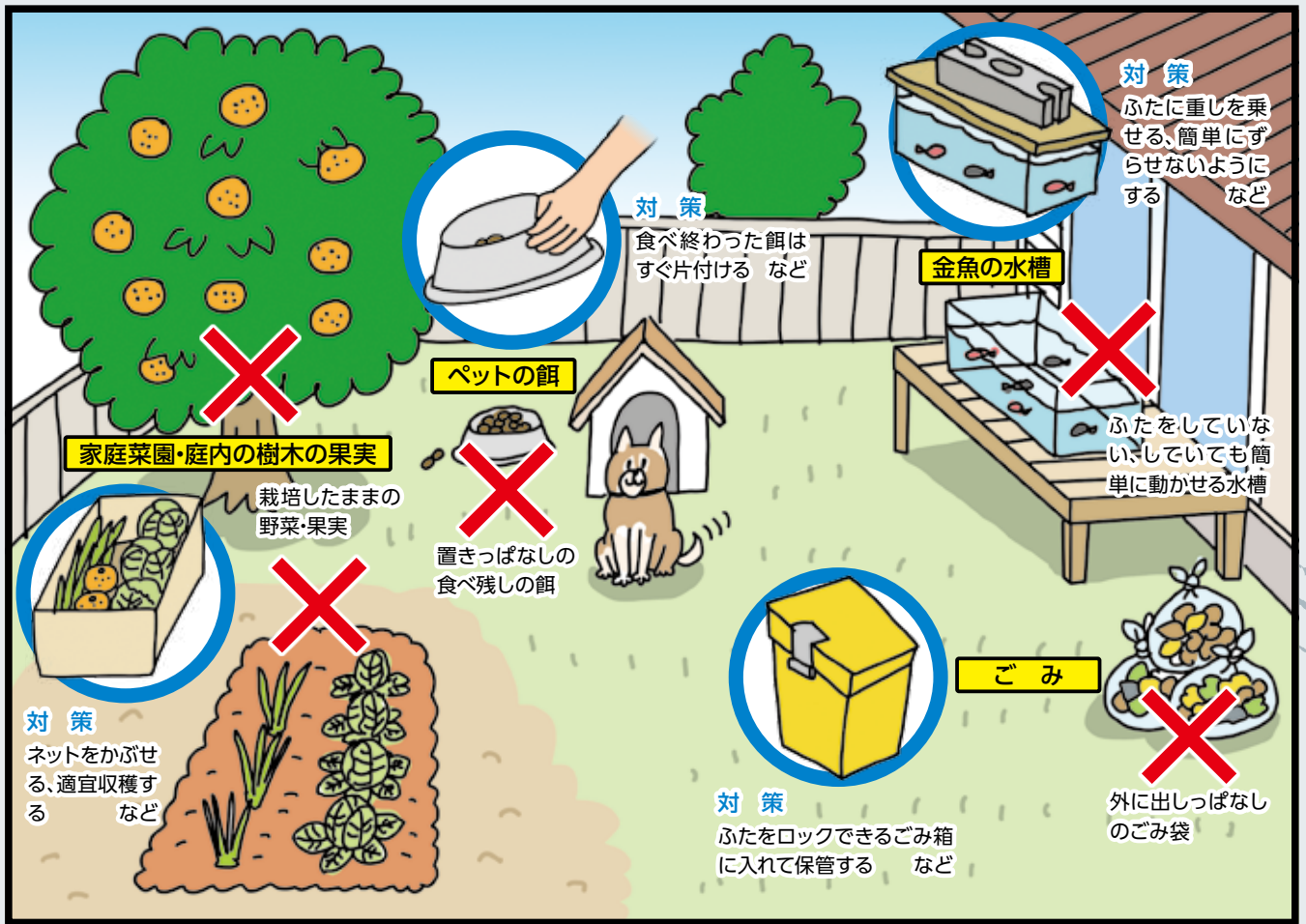
5月～7月にきれいな黄色の花を咲かせるオオキンケイギクも特定外来生物。栽培・譲渡などは法律で禁止されています。庭などに自生した場合は、根から引き抜いて飛散しないようごみ袋などで密封し枯らせた後に、燃えるごみとして処分してください。



環境省提供

こんな場所・ものが狙われています

× こんな対策が有効です! ○



こんな野生動物にも注意!

ニホンザル



北摂地域では、ニホンザルの目撃情報も相次いでいます。群れから離れて行動しているサルは攻撃的になっていくことが多く、人に危害を加える事例も複数報告されています。見掛けたら「近寄らない」「目を合わさない」「大声を出さない」「食べ物を見せない・与えない」といったことに気を付け、公園みどり推進課や警察に連絡してください。

市から皆さんへのお願い

市は、市民の皆さんから寄せられた目撃情報などをホームページで情報提供しています。近隣住民の皆さんは十分注意するとともに、家の周囲に狙われやすい場所がないか、今一度確認し、上記の対策などをお願いします。

また、頻繁に目撃情報がある、自宅に住み着いて困っているなどの場合は、必要に応じて捕獲用おりの設置や貸し出しを行っていますので、公園みどり推進課までご連絡ください。

アライグマをはじめとした特定外来生物による本来の生態系への影響を防ぐため、ご理解とご協力をお願いします。